

タイトル:平成 29(2017)年度 教育セミナー(第 13 回)

日時:2017 年 9 月 14 日(木)~17 日(日)

場所:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3 階大会議室(303)

木下 実紀(大阪大学大学院言語文化研究科)

この中東☆イスラーム教育セミナーには初めて参加させていただきましたが、大変貴重な時間をありがとうございました。今回のセミナーを受けての感想を大きく 2 つに分けて挙げたいと思います。

まず一つ目は同じ修士課程の方と発表、質疑応答、その他の休み時間などの時間を通して交流できたことです。私は現在、イランの文学を研究しておりますが、大学院での授業が個人授業であり、他の人の発表を聞き、質問をするという機会が非常に少ない環境にいるため、今回のセミナーでは多くの発表を聞き、そしてほかの受講生の熱心な質問を目の当たりにし、大変刺激を受けることができました。また、中東、イスラームと一言で言えど、アラブ圏、トルコ、イラン、中央アジア、そして東南アジアなど、他の受講生が専門としておられる地域は非常に多岐にわたっていましたので、自分の専門地域以外の知識・興味の幅を広める良い機会になりました。同じくくりのできる研究をしている仲間というものもともと少ないので、このように日本全国からいらしている多くの方とつながりを持つことができ、大変ありがたく思いました。普段、なかなかこのように多くの大学院生と研究の話をする機会がなく、また夏休み中で中だるみをしてしまっていた自分にとって、モチベーションを上げる大きなきっかけとなりました。

二点目は先生方のお話の中で、異なる分野の理論を聞くことができたことです。私は外国語学部出身であることもあり、学部生の頃は言語ばかりであり多様な分野の理論に触れる機会がなかったのですが、今回様々なお話をお話を理論に基づき講義をしていただき、自分にとって他分野の理論というものに対するハードルが少し低くなった気がします。やはり自分の研究にあまり関係がないように思えることだとしても、理論を少しでも知っている大きな学会でお話を聞く際に見る目が変わるのではないかと思います。また、先生方とは懇親会などでもたくさんお話をすることができ、今後の研究の展望を考えるうえで大きな参考となりました。

今回のセミナーで新たに学んだ手法や、自分の研究への気づきなどを生かし、今後の研究に役立てたいと思います。ありがとうございました。